

宮島ログランドデザインの実現に向けて

宮島口地区まちづくり整備計画(案)について
28年に策定された「宮島口地区まちづくりグランドデザイン」の実現に向けた、整備計画(案)です。

今後の主な予定

- ・30年度 旅客ターミナル
工事着手(広島県発注)
- ・市営駐車場実施設計
- ・32年度春 旅客ターミナル
供用開始・港湾施設本
供用開始
- ・市道赤崎14号線(Ⅰ工区)
供用開始
- ・32～38年度 広電宮島線
駅舎移設・踏切解消・広
電施設整備・市道赤崎3
号線整備・国道2号交差
点改良など順次事業展開
この後は、次期整備計画
により、48年度に全体整
備が終了する予定です。

議員からの質疑

Q 旅客ターミナルの運営は
どこが行うのか。

A 今後、関係者の意見を踏
まえて検討していきたい。

Q 民間駐車場は、都市計画
どおりに誘導していくべ
きではないか。

A JR北側は赤崎14号線整
備に併せ、景観のガイド
ライン、ルールづくりも
考えていく。

Q パーク&ライドの推進を。

A 関係機関と対策を進めて
いる。ゆめタウンやちゅ
ーピーパーク等協力いた
だいているが、効果的に
はたらくよう取り組む。

Q 一部大事業者の有利では
なく地区全体が良くなら
ないといけないがどうか。

A 回遊性を持ち、地区全体
が良くなるよう取り組む。

地域の実情に合った移動手段の確保へ

地域公共交通再編実施計画(素案)の策定状況について
再編は30年度中に中山間部、31年度中に沿岸部と
段階的に進められます。広電バスが撤退する路線
は自主運行バスに転換、中山間部の自主運行バス
の料金は、沿岸部と同じ大人料金150円均一とする
方針です。(乳幼児、障がい者等は割引あり)

区分	再編事業の概要	平成30年度	平成31年度	平成32年度
中山間部	(1)津田～吉和間の路線再編 広電バスから市自主運行バスに転換		事業者及びダイヤの変更など に伴う市自主運行バスの運行	
	(2)沿岸部～津田間の路線再編 広電バス津田線の運行サービス見直し	※中山間部 平成31年 1月運行開始 (予定)	運行サービス見直し後の広電バス津田線の運行	
	(3)玖島方面の路線再編 玖島方面の運行を市自主運行に一本化		見直し後の佐伯地域自主運行バス玖島線の運行	
	交通結節点整備、バス接近表示モニター設置、 運賃割引制度の導入、バス車両購入		「さいき文化センター」、 「吉和福祉センター」 の交通結節点化など	
沿岸部	(1)原・川末方面の路線再編 広電バスから市自主運行バスに転換		事業者及びダイヤの変更など に伴う市自主運行バスの運行	
	(2)廿日市さくらバスの路線再編① 阿品台、宮園・四季が丘、宮内方面の 路線の再構築		再構築後のさくらバスの運行	
	(3)廿日市さくらバスの路線再編② 東循環の分離によるコンパクト化		単独路線化した佐ガルート の運行	
	ICカードシステムの導入、交通結節点整備、 バス接近表示モニター設置、バス車両購入		さくらバスへの バスビー導入など	

議員からの質疑

Q デマンド交通朝1便の予
約を当日でも可にしてほ
しい。また、通話困難等
予約が難しい方への対策
を。

A 予約の仕方など引き続き
利便性向上を考えていく。

Q 自主運行バスは150円均一
料金になるが、同じ地域
内でも広電バスのみので
区では、料金は高くなる。
均一にできないか。また、
地域外への乗車は300円な
ど低料金にできないか。

A 均一など、低い料金設定
になるよう事業者に働き
かけていきたい。

Q 計画実施により市の財政
負担はどうなるのか。

A 再編後は広電バスへの補
助はなくなり、新たに自
主運行バスの運行負担金
が生じる。利用状況は変
動するが、これまでの負
担以上にならないよう維
持していきたい。